

令和元年度第5回神岡地域協議会会議録

令和元年12月24日

神岡地域協議会

令和元年度第5回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	4
■協議	4
新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更について	4
地域枠予算活用事業について	9
第5期地域協議会委選任の方針について	13
■その他	15
■閉会	16
■署名	17

令和元年度 第5回神岡地域協議会 会議録

■日 時：令和元年12月24日（火） 午前10時

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員： 11名

齊 藤 亘、今 真 弓、今 野 公 行、齊 藤 恵 子、
齊 藤 劭、齊 藤 博、齊 藤 由 紀、佐々木 徹、
鈴 木 幸 一、高 橋 しげ子、中 村 淑 子

■欠席委員： 5名

傳 野 和 樹、伊 藤 明 美、鈴 木 幸 寿、鈴 木 美 保、
久米川 和 行

■出席職員： 8名

小田原 一 春（神岡支所長）	佐 藤 直 史（農林建設課参事）
藤 井 良 子（中央公民館長）	加 賀 貢 規（総合政策課長）
新 田 雅 昭（総合政策課主幹）	小笠原 潤（総合政策課主査）
舛 谷 恵理子（地域活性化推進室主幹）	
佐 藤 孝（地域活性化推進室主査）	

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名員の指名
- 5 案 件
 - （1）新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更について【説明】
 - （2）地域枠予算活用事業について【協議】
 - （3）第5期地域協議会委員選任の方針について【説明】
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

(午前10時 開会)

○事務局（地域活性化推進室）

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ただ今から令和元年度第5回地域協議会を始めさせていただきます。
はじめに、齊藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆さんおはようございます。師走の何かとせわしない中でのご参会、本当にありがとうございます。今年はなぜか雪も少なく、生活する上では雪が無い方が良くのかなという部分もありますけれども、ここ神岡は基幹産業が農業ですので、来年に向けて水不足の心配もされるところでございます。

今年も残すところ1週間で第5回の地域協議会を迎えるわけですが、春の委員の皆さんのご活躍から、令和という新しい年をチューリップで迎えられ、大変飛躍的で活動的な1年になったかなと思っております。今月初めに降った雪でビオラも隠れましたけれども、また緑色に顔を出しまして、桜も狂い咲きするのではないかなというような陽気が考えられます。海外では大変高温が続いているそうです。併せて、全国的にインフルエンザが流行っているという情報もございますので、皆さんも健康にご留意されまして、輝かしい新年をお迎えになられることをご祈念したいと思います。

また、今日は様々な説明事項があるようでございますので、我々神岡にとりましてもさらに飛躍できるように、皆さんから忌憚のないご意見をいただきながら、令和元年の締めくくりに向けて今一度委員の皆さんのご協力をお願いして、あいさつとさせていただきます。今日はよろしく願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

ありがとうございます。続きまして、小田原支所長よりごあいさつを申し上げます。

○小田原神岡支所長（以下「支所長」と表記）

皆様おはようございます。今年度第5回の神岡地域協議会を開催しましたところ、委員の皆様には年末のお忙しい中、また、お足元の悪い中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは、10月の地域協議会以降の当支所管内の主な出来事についてご報告させていただきます。

はじめに、10月26日にかみおか地域文化祭が農村環境改善センターなどを会場に開催されました。子ども達の出し物や中学生の学習発表、神岡地域で活動しているサークルなどの芸能発表、バザー等が行われ、約1,300人の来場者で賑わいました。

翌日の10月27日には、神岡小学校のニコニコサンデーが開催されました。気温が低いお天気でしたが、保護者の方々をはじめ地域の方々や福祉のまちづくり委員の方々などが、世代を超えた交流をして大盛況の開催となりました。

10月29日には金婚式が、73組のご夫婦から申し込みをいただき、ふれあい文化センターで開催されました。神岡地域からは1組が出席されております。

11月3日の文化の日には、地域枠予算活用事業の第13回全日本残月花火選手権大会が、稲刈り後の北檜岡地区の田んぼで開催されました。今年は時おり小雨がパラつく天候でしたが、主催者の大曲青年会議所に加え、県南各地域の青年会議所の協力と、大仙、仙北、美郷の企業からの協賛もあり、豪華で数多くの景品が用意され、参加された方々も大いに盛り上がった大会となりました。

同日、秋の火災予防運動初日には、北檜岡公民館を中心に消防団駆け付け訓練が行われました。例年であれば春に実施するものですが、秋田県議会議員選挙の投票日と重なったためにこの時期の開催となったものです。訓練終了後には、自主防災組織の方々や消防団員を対象に防災講話が開催され、約40名の方々が災害時の行動などについての説明に聞き入っていました。

11月9日には、地域の長年の懸案事項でありました間倉地区堤防の完成式が現地で行われ、御法川国土交通副大臣をはじめ国、県、市の関係者や議員、地元自治会長などが出席し、くす玉を割って完成を祝いました。また、

11月23日には、第12回となりました秋田飴売り節全国大会が農村環境改善センターを会場に開催されました。今年は一般の部61名、年少の部5名が出場され、太田地域の富岡久美子さんが優勝されております。

月が替わりまして12月4日には、3年に1度の一斉改選に伴う民生委員・児童委員・主任児童委員の委嘱状伝達式が行われました。今回の改選では、委員17名のうち7名の方々が新任委員として委嘱されました。

12月12日には、第46回神岡地区自治会連合会対話集会在福祉センターで開催されました。それぞれの地区から提出された要望の中から11項目について、要望内容の説明と市側の対応についての回答が示されました。この集会には老松市長が出席され、例年より活気のある集会となりました。

昨年度から神岡地域協議会の自主事業として取り組んでおります神岡地域カレンダーですが、11月中旬に完成し今月初めに市広報誌と一緒に全世帯へお配りしております。このカレンダーの写真につきましては、写友「嶽」の皆様からご協力をいただき、中身の濃いカレンダーとなっているように感じております。また、この後審議していただきます花壇整備事業では、11月26日に委員の皆様からお集まりいただき、音楽交流館前の花壇に約1,200本のビオラの苗を植えることができました。先程の会長のご挨拶にもありましたが、冬を越して来年の春には綺麗で大きな花を眺めることができるのを楽しみにしているところでございます。

最後になりますけれども、今年一年、皆様には色々な面でご協力とご尽力をいただ

きました。本当にありがとうございます。間もなく訪れる新しい年も、皆様にとりまして良い年となるようお祈りいたしまして、開会のあいさつとさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長をお願いいたします。

○会長

それでは会議を始めます。本日、傳野和樹委員、伊藤明美委員、鈴木幸寿委員、鈴木美保委員、久米川和行委員より欠席の届けが出されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、4番今野公行委員と14番高橋しげ子委員をお願いいたします。

支所長のあいさつであるのかなと思って控えさせていただきましたが、現在、神岡地域は交通死亡事故ゼロと無火災となっております、あと少し頑張っただけでこれらを得たいと思っていますので、委員の皆様からも交通事故の注意と火の元の注意をお声掛けいただけたらと思います。よろしく願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。はじめに、企画部総合政策課から新市建設計画の変更について説明があります。よろしく願いいたします。

○加賀総合政策課長（以下「総合政策課長」と表記）

皆様おはようございます。総合政策課の加賀と申します。今日はどうぞよろしく願いいたします。

本日は師走の大変お忙しい中、貴重なお時間をいただきまして本当にありがとうございました。はじめに、本日同席しております職員をご紹介します。班長で主幹の新田でございます。同じく、主査の小笠原でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日でございますけれども、来年3月の完成を目指して現在策定作業を進めております「新市建設計画」と「大仙市人口ビジョン」、「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」改定案につきまして、皆様にご説明申し上げたいと思います。この3つの計画等につきましては、現在大きな課題となっております人口減少対策でありましたり、地方創生でありましたりを推進する上で、あるいは大仙市のまちづくりに係る施策・事業の財源確保をしていく上で大変重要なものとなっております。地域協議会委員の皆様をはじめ市民の皆様、関係機関・団体の皆様のご意見をお伺いしながら策定することとなっているものでございます。この後早速、担当から概要につきましてご説明申し上げますので、委員の皆様にはぜひとも忌憚のないご意見やご提言を

頂戴できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。皆様から頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の計画づくりの中でぜひとも参考にさせていただきながら、実効性のあるより良い計画の完成に繋げてまいりたいと考えておりますので、皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、一言ごあいさつとさせていただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○総合政策課 小笠原主査

改めましておはようございます。総合政策課の小笠原と申します。課長のあいさつの中にもございましたが、本日は3件ございまして、「新市建設計画」の変更につきましては、合併特例法に基づきまして、あらかじめ地域協議会のご意見をお伺いしないといけないということで、法定事項となっているものでございます。「大仙市人口ビジョン」につきましては改定を行っておりまして、そちらについて説明を申し上げたいと思っております。それと「第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、第1期計画が今年度で最終年度ということで、来年度以降の取り組みについてご説明申し上げまして、ご意見を頂戴したいと思っております。本日は貴重なお時間を頂戴しておりますので、なるべく簡略にご説明させていただきたいと思っております。そして、来年1月にパブリックコメントを実施する予定でございまして、本日ご覧いただいておりますご意見がございましたらいただきたいと思っておりますが、いきなり見てご意見というのなかなか出づらいためと思っておりますので、よろしければパブリックコメントのタイミングで、ご意見をさらにいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【配布資料に基づき説明】

- ・新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更概要
- ・大仙市人口ビジョン改定（素案）の概要
- ・第2期大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）の概要

○会長

ありがとうございました。それでは、ただ今の説明についてご質問、ご意見等をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○佐々木徹委員

何をするにも最初に雇用、収入を得るためのものがなければどうにもならないと思います。長い目で見て、市の方では最初にどういう産業を集中的に育てるのか、全部を広く浅くという感じなのか、どのように考えておられるのか教えていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○総合政策課 小笠原主査

産業につきましては、工業振興条例というものに基づきまして、例えばIT関係の分野を積極的に誘致しようということ、また、大仙市は製造業が多いですので製造業に力を入れていこうといったところでございます。併せて、中小企業も多いですので、中小企業の基盤強化にも取り組んでまいりたいということでございます。いずれ、全ての分野を網羅するというのはなかなか難しいところもございますので、成長が見込める産業について力を入れてまいりたいと思っております。併せて、企業誘致にも取り組みまして、雇用のバリエーションを増やしていきたいと考えてございます。新卒者とのマッチングがなかなかうまくいっていないようでして、有効求人倍率は高いですけれども就職に結びついていないという状況ですので、選択できるような職業も増やしてまいりたいと考えております。

○総合政策課長

産業という話をしますと、大仙市では農業が欠かせない大事な産業ということで、重点施策の一番目に挙げさせていただいております。市長もここはどうかして元気にしたいということで、本当に色々な取り組みをしております。担い手育成から複合化、基盤整備などもやっておりますし、これからさらに農業を元気にしていこうということで「農業と食に関する活性化基本構想」というものを策定中でございます。農業と言った場合に、世界的に見れば間違いなく今は食糧難に陥っております。幸い日本につきましては飽食の時代が続いているわけですけれども、早晩、食糧難というのは日本にも押し寄せてくるかと思えます。そうなった時に日本の食糧をどこが担うのかと言えば、間違いなく大仙市が一つの筆頭になってくるかと思えます。現に米の生産量でいきますと、新潟市に次いで全国第2位を誇っております。また、秋系821という非常に有力な新しい品種ができあがるという明るいニュースもあります。私はまだ実際に食べたことはないですけれども、どこの評価を聞いても非常に高い評価でして、あきたこまちももちろんこのまま頑張っていきますけれども、秋系821もそのさらに上にランクするような米ということで、県の方でも頑張っていますし、まだ正式にアナウンスはされていませんが、恐らくここでも作らせてもらえるのではないかと希望もありまして、市長も県の方に何回も要望をしているという状況であります。農業に関しましては、少しずつ明るいニュースが出てきておりますので、先程、小笠原が申し上げました企業の部分と農業の二本線で、雇用と所得を増やせるような形に持っていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

私からよろしいでしょうか。未来に向けて大切な問題ですけれども、グラフの傾き

を変えるような計画は、机上では大変やりやすいと思いますが、実現させるとなればなかなかどうでしょうというお話にはならないと思います。結果がついてくるまで年月もかかることですので。大仙市として合併したことですから、広域的な考え方をもって経済面なり人口面なりのこれからの推移を補おうという考えが、現在だと守りのやり方にしか感じないのですけれども。学校一つとってみても、児童生徒数が減ったから統合しましょうとなり、そうすれば生活的な交通の利便性が損なわれるという問題も生まれて、全ての面に対して今まで守りの考え方でやってきたと思います。

私が資料を見させていただいて大変興味を持ったのは、子育てを含めた結婚と出産の支援を目標の一つにしているというところにして、何かわかりやすく具体的なお考えというのはあるものでしょうか。よろしくをお願いします。

○総合政策課 小笠原主査

ありがとうございました。前半の部分ですけれども、人口減少への対応ということで積極戦略と調整戦略という二つの方向性を持って総合戦略を策定しておりまして、会長さんのおっしゃった部分が調整戦略、いわゆる人口減少に合わせたような施策になってございます。積極戦略というのは、大仙市を市外に売り込んでいくというような戦略になっておりまして、今取り組んでおりますのが、資料の「地域資源を磨き上げ、新たな産業へ」というところの「地方創生への挑戦」まさにこの部分でございませう。例えば、花火産業構想というものですとか、先程、課長の方からお話がありましたが農業と食に関する活性化基本構想、そのほか、第3の矢としまして地域の文化資源、伝統資源を活かしたような取り組みも、積極戦略の一つとして検討してまいりたいと考えているところでございます。

それと、子育て支援の部分でございませうが、先日、南外地域協議会にご説明に伺った際に、委員の方が大仙市外に引っ越された友人の方のお話をされておありまして、「市外に出て初めて大仙市の子育て支援が手厚いということがわかった」というご評価をいただいたようでございました。子育て支援に関しましては県内でも比較的手厚くさせていただいていると考えておりまして、それがそういった評価に繋がっているのかなと思っております。ただ、やはり情報がうまく伝わっていないということもございませう。アンケート結果でも必要な人に届いていないというような結果が出ておありまして、出会いから結婚、子育てまで切れ目のない支援をしていこうということで、今年度、検討会議を設置して検討を進めております。そして、できることから来年度以降に順次実施していくということで考えておりまして、そういったものも総合戦略の中に盛り込んでございませう。一つ例を申しますと、企業の皆さんと協力しながらワーク・ライフ・バランス、仕事と子育てですとか仕事と介護などの両立を進める取り組みをしようとしておりまして、新たにイクメン認定制度というものを制度化しようとしてございませう。行政だけが頑張ってもなかなか効果は出ないということもございませう。女性の方が安心して働きながら育児もできるような取り組みを企業の

皆さんと一緒に進めたいと考えてございます。それと、出会いのきっかけとなるイベントは、市で小規模のものを年2回やっておりましたが、やはり行政でやるイベントというのは限界がありますので、民間の企業さん、事業所さんのお力をお借りしまして、大規模なイベントにシフトしていこうと考えてございます。このように目に見える施策が来年度以降は出てまいりますので、そういったところも盛り込んで計画を策定しております。

○会長

ありがとうございます。

○佐々木徹委員

もう一つよろしいですか。令和47年までと長いビジョンですが、これでいきますとすごく人口が減って行って、各地域で今のような行政サービスはもちろん無理だと思いますし、地域が成り立たないと思います。合併して十数年になりますけれども、小学校などもそうですが、いずれ消滅する地域というのも出てくるのではないかと思います。その場合、大仙市の中で団地のようなものを作ってそこに人を集めるような形とか、以前からありますが輪中堤とかといった、人を集めて行政サービスをしやすくするような形のビジョンというのはいないものでしょうか。

○総合政策課長

ありがとうございました。国の方でも言っている、いわゆるコンパクトシティなどの話になるのかと思いますけども、平成21年に大仙市で作りました「都市計画マスタープラン」というものがありまして、その中でも実はそういうことが謳われていまして、将来的にはできればそういう形にもっていければと思っております。効率だけでは語れない部分はあるのですが、やはり、委員からおっしゃっていただいたように、ある程度コンパクトにまとまっていて、いわゆる生活機能だとかがきちんと整備されていればもちろん暮らしやすいですし、とても良いのではないかとということで、団子と串理論という言い方もしますが、そこを一つの団子と見て、色々な団子が各地にあってそれを公共交通で繋げていくというような形ですが、できればこう進めていきたいという部分はあります。ただ、やはり今まで代々受け継いできた土地、例えば家だとか田んぼだとかを含めてですけれども、そこを手放して来てくださというのは、行政サイドとしては言いにくい部分もありますので、そこはこれからの機運の盛り上がりというところもございまして。集約型都市構造への転換という部分も、今回の総合戦略の中でも書かせていただいておりますが、もちろん強制することはできない話ですので、人口減少が進む中であっては、そういう都市構造にもっていかなければ皆さん大変だということをお話させていただいて、徐々に気運を盛り上げていきたいというふうに思ってお

ります。よろしく申し上げます。

○会長

そうですね。コンパクトシティはグラフを変えるには良いやり方だとは思いますが、涙を流さなくてはいけない人も出てくるというあたりが、大変大きな課題だと思います。公共交通の意見を伺っても、やはりコンパクトシティというところに結論がどうしてもいってしまいます。行政側の考え方からいくと、一つも血を流さない、涙を流さないビジョンじゃないと目の目を見ないと思いますので、そのあたりのお考えは委員の皆さんも心に秘めているものと、常日頃感じております。計画を作られた3名の方はひしひしと感じているところだと思いますので、それを踏まえて、いかに良い施策をとるところでしょうけれども。

ほかに何かご意見・ご質問等ございませんか。

パブリックコメントの期間もあるということですので、ぜひそれまでにお考えをお届けできるようにまとめておいていただければと思います。

特になければ、ここでしめたいと思いますがよろしいですか。

それでは、ありがとうございました。これで企画部総合政策課の説明を終わらせていただきます。3名の方々、今日は本当にありがとうございました。

○総合政策課長

本日は大変お忙しい中お時間をいただきまして、本当にありがとうございました。また、貴重なご意見をいただきまして、この後3月まで計画作りはあるわけですが、その中で、今いただいたご意見をできるだけ反映させてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。計画の方ですが、いわゆる作って終わりではなく、作ってからが本当のスタートと認識してございます。市長もよくそういうことをおっしゃっていますけれども、その市長の旗印の下で皆様と手を取り合いながら、できるだけ大仙市の各地域が元気になれるように頑張りたいと思いますので、今後ともご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。本日は大変ありがとうございました。

○会長

ここで総合政策課の皆さんは退室いたします。今日はありがとうございました。

【総合政策課退室】

それでは、次に案件（2）地域枠予算活用事業についてですが、新規事業事務局の方がお見えになっておりますので、ご説明をお願いいたします。事業名は「ふるさとPR事業」、申請団体は東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会です。お願い

いたします。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

【資料No. 1、資料No. 1－1に基づき説明】

・市民主導型

ふるさとPR事業

事業の目的：毎年、地元神岡から東京嶽雄会に参加することで応援している者を中心に組織された当会が、様々な形で東京嶽雄会を応援することによって、活動の活発化に寄与することと交流を深めることを目的とする。

申請者：東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会

事業費：130,571円

申請額：105,458円

○会長

ありがとうございました。ふるさとPR事業について、ご質問、ご意見等をお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

○齋藤博委員

東京嶽雄会の会員は何人くらいいるものですか。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

名簿上は300人くらいいるようですが、高齢化が進んだり、何年ご案内を出しても総会などに来ていただけないなどで、会費を納めていただいている方は100人弱だと思われます。でも、年齢的にまだ来ていただけるのではないかとということで、東京嶽雄会の方では毎年150人くらいに案内通知を出しているということにして、いつも地元のパンフレットなどは150部用意して行っておりますし、今回も150人分の名簿を送っていただくこととなっております。今年6月の総会会場でこの会を立ち上げた報告と、できれば年内に神岡地域カレンダーをお送りさせていただきたいので、総会に来ていない方の名簿もいただけますかということでお願いをしてみました。

○会長

年内にというと、もう準備ができている状況ですか。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

鋭意準備中でございます。

それで、昨年度カレンダーを作った時に、神岡地域を色々なところにPRできれ

ばということで絵ハガキとしましたが、今年は秋田県大仙市神岡地域協議会という名前にしていただいております。それをふるさと会の方々や、当然地元の方々も県外にハガキとして送った時に秋田県大仙市の風景なのかなとわかってもらえればなお良いかと思っ、今年はそのように作っていただきました。

○齊藤勲委員

すみません。278円というのは何でしょうか。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

味どうらくのドロップです。缶に入ったもので、道の駅などで売っています。会を立ち上げた時に、500円くらいの地元のものがあればいいかなと思ひまして。

○齊藤勲委員

それとカレンダーを送るということですか。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

そのとおりです。

○齊藤勲委員

個人的にですが、カレンダーは県外にいる親類に送ったのですけれども、写真が良くてもったいなくてハガキには使えないと、懐かしい場所がいっぱいで非常に良かったと喜ばれました。

○会長

よろしいですか。こちらは150人分となっていますけれども、後で追加の要望があったら対応できるものでしょうか。

○支所長

カレンダーは若干手持ち分があります。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

ただ、あまり自己資金のある会ではないので、この事業としては150人に送って、追加を希望する声がある方からありましたら、在庫があれば来年の総会の時に持っていくという形になるかと思ひます。

○支所長

もしくは、東京嶽雄会の方に取りまとめなどをお願いして、その方のところにま

めて送る形になるかもしれません。

○齊藤勲委員

もう一つよろしいですか。応援する会から東京嶽雄会の総会に合わせて何人か出向くのでしょうかけれども、千円の会費ですので旅費の補助などはないと思うのですが、100パーセント自己負担で参加者を募って総会に行っているということですか。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

これまでは、東京嶽雄会に同級生の繋がりなどで行っている人には、東京嶽雄会さんの方から毎年ご案内が来て参加をしていました。今年度この会を立ち上げましたので、年明けぐらいに役員会を開催しまして、せっかく応援する会に入ったので東京嶽雄会に行ってみたいという人に対しては、旅費の助成などを事業計画に入れるように考えております。その際はまた地域枠の方をお願いをすることになるわけですが、そういう補助を出せるような計画を作って、もう少しこちらからも参加していければ、応援する会と東京嶽雄会さんの交流も深まっていくのではないかなと考えているところです。

○齊藤勲委員

どうかよろしく願いいたします。と言いますのも、例えば自治会連合会とか自主防災組織とかで、こういう活動をして安心安全なまちづくりのために頑張っていますよという報告もできたら良いのかなと思っておりまして、ぜひ声かけをしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

○東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会 事務局 齋藤様

よろしく願いいたします。

○会長

ほかにございますか。

よろしいですか。なければ、東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会による「ふるさとPR事業」につきまして承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございました。

齋藤様はここで退室されます。ありがとうございました。

続きまして、次の地域枠予算活用事業について事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料 No. 2、資料 No. 2－1 に基づいて報告】

・行政主導型事業

大仙市音楽交流館花壇整備事業

事業目的：地域の魅力再発見事業「大仙市音楽交流館を活用した音楽拠点整備事業」に関連して、昨年度に引き続き、県道 67 号四ツ屋神岡線側から大仙市音楽交流館入口付近の花壇を整備するもの。神岡地域協議会自主事業の一環として環境美化活動を行う。

申請者：地域活性化推進室

事業費：264,157円

○会長

ありがとうございました。ただ今ご報告いただきました大仙市音楽交流館花壇整備事業についてご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

質問と言いましても事後ですので。皆さんには大変ご難儀をおかけしました。

○齊藤勲委員

チューリップを植えるよりはすいぶん楽でしたね。

○会長

深く掘らなくても良かったからですかね。見事に全部根がついて良かったですね。

皆さん何かございませんか。それでは、資料 No. 2 の行政主導型事業については以上といたします。

次に案件（3）第 5 期地域協議会委員選任に関する方針について、事務局から説明をお願いいたします。

○支所長

【資料 No. 3 に基づいて説明】

- ・第 5 期地域協議会委員（令和 2～4 年度）選任に関する方針《全地域共通》

○会長

ありがとうございました。ただ今の件についてご質問等ございませんか。

こちらは方針なので色々な対応ができるかと思いますが、全地域共通というのは大仙市全域共通という捉え方ですか。地域ごとの特性を生かしてという文言も含まれていますので、例えば神岡地域独自でという考え方もできるのでしょうか。と言いますのも、色々な場面で地域協議会委員は何をやっているのだというようなお言葉を頂戴することがあります。そういう意見があるとなると、選考区分・選考方法には公募は

定数に達しない場合にとありますが、公募もほかの選考区分と同等の扱いとしてみるのはいかがでしょうかという思いがありまして。それは可能かどうか、今判断できるものですか。

○支所長

今までの委員の方々の選考区分を見ますと、公募の方が1～2名いた時期もあったようです。5期目の方々の選任につきましては、先程申し上げましたとおり、公共的団体推薦や学識経験者に重きを置きたいとは思っていますけれども、公募をして手を挙げてくださる方がいればそちらも対応したいと思っております。ただ、会長がおっしゃったように、神岡の地域特性はどのようなものかという話になってくると、地域の中で広く活動している団体の方々から応募をしていただくことが望ましいのかなと思っておりますが、そのあたりにつきましてはこれから検討していきたいと思っております。

○会長

ありがとうございました。自治会の方にも推薦の連絡は入るといえることでしょうか。公共的団体推薦の欄に自治会連絡協議会関係とありますけれども、ここを踏まえると、公募というやり方でなくても広く市民に伝わる構成という考えでよろしいでしょうか。

○支所長

公共的団体の推薦につきましては選出母体があると思っておりますので、そちらの役員会などで地域協議会委員の推薦をしていただきたいと思います。資料に書かれている団体のほかに、地域づくり活動をしたいという方がいらっしゃれば、その方は公募を行った際に応募していただきたいと思います。応募方法を独自のチラシで全戸配布するのか、地域版の広報に入れ込むのかはこれから検討していきたいと思っております。

○会長

わかりました。選考委員は支所長を含めた地域活性化推進室になるのですか。

○支所長

公募委員選考委員会設置要綱という市全体の取り決めのようなものがございまして、その中に「選考委員会の委員は、地域自治区毎に支所長、市民サービス課長、農林建設課長をもって組織する。」とありますので、支所の職員が選考委員になります。

○会長

活性化推進室は入らないということですか。

○支所長

いずれ、事務担当として活性化推進室には入ってもらうことになります。

○会長

そうすれば、支所判断になるということですね。わかりました。

○齊藤勲委員

すみません。もし公募するとなると、神岡地域の全ての方が対象になるということですね。となると時間的にいって不可能ではないでしょうか。もし各団体から推薦があれば、その方でよろしいでしょうかから、公募の部分については次回に検討することにしたら良いのではないのでしょうか。

○支所長

スケジュールにありますけれども、1月中に委員の意向確認などがありますので、それを踏まえて定員に満たない場合は公募に移っていくことになるかと思います。

○会長

ありがとうございます。ほかにご覧いませんか。

それでは案件（3）第5期地域協議会委員選考方針については以上といたします。

次に、次第6. その他に入ります。事務局から何かございますか。

○事務局（地域活性化推進室）

資料の最後に、第3回大仙市ひとつくり・ものづくり応援事業審査会の資料を添付してございます。そちらをご覧くださいまして、今回、会長がご出席されましたので何か補足等があればお願いしたいと思います。

○会長

【第3回大仙市ひとつくり・ものづくり応援事業審査会の結果について説明】

・ものづくり応援事業

きょうわジビエブランド戦略事業

事業の目的：先般の視察で参考になった内容を十分に踏まえ、解体処理・加工施設の整備をし、人間だけではなく、ペットも食べられるような商品を販売するために実施するものです。また、安全で良質なジビエの提供を実施するため、捕獲から搬送・処理加工までできるしっかりとした体制を築くものです。

申請者：きょうわジビエ研究会

事業費：10,077,000円

申請額：5,000,000円

○佐々木徹委員

事業報告は何年かあるものですか。

○会長

それについてもお話してきました。投げっぱなしではなく、1年後、2年後、3年後まで事業報告を頂戴しないと意味がないのではないかということは言っています。

○会長

ひとつづくり・ものづくり応援事業は期限があったと思いますが、いつまで続くものでしたでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

「大仙市ひとつづくり・ものづくり応援事業審査会設置要綱」を見ますと、附則に「平成34年3月31日限り、その効力を失う。」とありますので、その日をもって事業自体もできなくなるという解釈になるかと思います。

○会長

私からの説明は以上ですが、何かご質問があればわかる範囲でお答えいたします。よろしいですか。そうすれば、ほかに事務局から何かございますか。

○事務局（地域活性化推進室）

ありません。以上です。

○会長

委員の方々から提案等ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。それでは、本日の協議を全て終了させていただきます。大変お疲れ様でございました。

(午前11時55分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

今 野 公 行

高 橋 しげ子
